

春はカラスも恋の季節

3月になり、暦の上では春が訪れ、少しずつ暖かく過ごしやすい気温になってきました。もちろん私たち以外の生き物にとっても活動しやすい時期になります。

カラスはとても身近な生き物ですが、糞や鳴き声、その存在にもお困りの方は多いのではないのでしょうか。カラスは3月～7月にかけて繁殖期に入り、子育てのための巣作りもこの時期に行われます。そして、その巣の真下には糞がたくさん落とされ、気が立った親鳥が周囲を警戒しています。原則、カラスは鳥獣保護法で守られているため、卵やヒナのいる巣の撤去は出来ません。そのため、産卵前

あるいはヒナが巣立った後でないと対策はできません。

カラスの巣は様々なもので作られます。一般的に見られるのは木の枝ですが、針金ハンガーなどヒトが使っているものを用いて作られることもあります。また、図5のように高所に作られることが多く、糞が落ちてきて初めて気づくこともしばしばあります。さらに、巣はかなり頑丈に編んで作られているため、個人で撤去するには困難なことが多いです。



図3、4 カラスの卵とヒナ
緑や青みがかった色の卵
巣の中には親鳥の羽毛がたくさん敷かれている



図1 ハシブトカラス
都市部で多く見られる



図2 カラスの糞
ほかの鳥類に比べ水分が多く
広範囲に広がって落とされる

特に繁殖期には、巣に不用意に近づくと威嚇されたり、攻撃されたりすることがあるため危険を伴います。

カラスの巣の撤去はタイミングが重要となります。巣は高いところにあるので、上を見上げてみてください。もし、見つけた際は早めにご相談ください。



図5 高所に作られた
カラスの巣
地上から約10mのところに
見られた



図6 ハンガーで作られた
作りかけのカラスの巣



図7 木の枝で作られたカラスの巣（屋上）

今月の

豆知識

賢いカラスに要注意



カラスは賢く、怖いというイメージを持つ方が多いのではないのでしょうか。カラスは小学生低学年並みの知能を持つと言われ、学習能力のある動物です。また、色彩の認識にも優れ、信号機の色を識別していると言われます。実際に、赤信号で車が止まっている時に木の実を道路に置き、青信号になり車に轢かれて木の実がすぐに割れても再び赤信号になるまでは決して道路に近づかないという報告があります。しかし、黄色の識別は苦手であると言われていたため、自治体によっては指定のゴミ袋は黄色のものが使われており、カラ

スからゴミが認識されないような工夫がされています。また、カラスはヒトの背格好や服の色を覚えることができるため、いたづらをされたり、巣を荒らされたりすると、その相手の服装やその人の特徴を覚えて襲ってくる場合があります。しかし、カラスはいきなり襲ってくることはなく、怒っている時は威嚇行動など必ず前触れがあるはずで、その前触れを無視してしまうと、カラスは後方から低空飛行で追いかけてきて、最終的に後頭部を狙って攻撃してきます。カラスを見つけても、そっと見守るだけにしましょう。